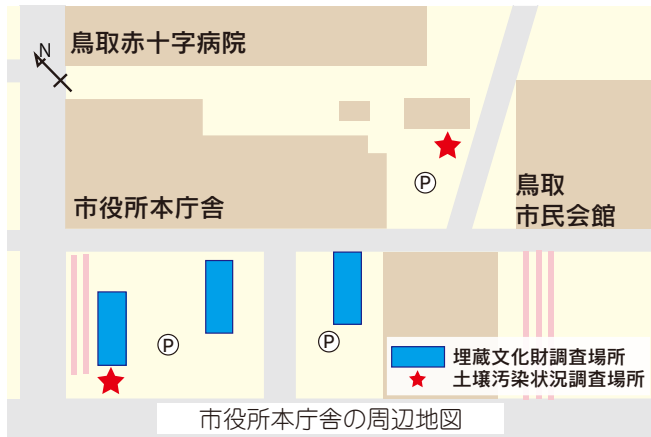


鳥取市役所本庁舎敷地の土壌汚染状況調査 および埋蔵文化財調査の結果について

鳥取市庁舎耐震改修案は、本庁舎敷地（本庁舎建物の下、駐車場）の掘削が予定されているため、法律などに基づく調査を行いました。その結果についてお知らせします。

問い合わせ先
（土壌汚染状況調査に関すること）
本庁舎庁舎整備局 ☎ 0857-20-3012
（埋蔵文化財調査に関すること）
第二庁舎文化財課 ☎ 0857-20-3367



土壌汚染状況調査

鳥取市庁舎耐震改修案は、土地の掘削面積が3,000㎡以上となる見込みであるため、土壌汚染対策法に基づく届出が必要となります。

本庁舎の敷地は、基準値を超える物質が近隣で検出されていることから、法律に基づく調査（自然由来による土壌汚染地の調査）を実施しました。

調査期間：平成24年8月4日～9月28日

調査対象物質：ヒ素、ふっ素、ほう素

試料採取場所：

庁舎前アスファルト駐車場および庁舎裏駐車場の2カ所
調査結果：

▶ 土壌溶出量調査

ヒ素は、22検体のうち9検体が土壌溶出量基準に不適合でしたが、ふっ素、ほう素は、22検体すべてが土壌溶出量基準に適合しました。

物質名	ヒ素
土壌溶出量基準（第二溶出量基準）	0.01mg/L (0.3mg/L)
調査深度	GL-10m
最大値	0.088mg/L
基準不適合試料数／調査試料数	9／22
第二溶出量基準不適合試料数／調査試料数	0／22

▶ 土壌含有量調査

ヒ素、ふっ素、ほう素とも、22検体すべてが土壌含有量基準に適合しました。

※土壌溶出量調査：弱酸性の水（雨水程度）によって溶出される重金属量を測定する調査

※土壌含有量調査：胃酸を想定した溶液によって溶出される重金属含有量を測定する調査

今後の対応：

試料採取した2地点とも、ヒ素が土壌溶出量基準に適合しなかったため、調査対象地全体（本庁舎敷地）が土壌溶出量基準に適合しない土地とみなされます。このため、工事による掘削により土壌を敷地の外に搬出する場合は、法律に基づいた運搬、処理を行う必要があります。

埋蔵文化財調査

市役所周辺には、薬研堀という町人屋敷と武家屋敷を区画する堀があったことが、鳥取城下を描いた絵図などによりわかっています。今回の埋蔵文化財調査は、薬研堀がどの程度の幅だったのかを確認し、本調査に必要な範囲を決定するために行いました。

調査期間：平成24年6月11日～9月15日

調査場所：市役所本庁舎駐車場内3カ所

調査結果：

江戸前期、江戸後期、近代以降の3時期の遺構を検出しました。

▶ 江戸前期

安政5年の「鳥取城下全図」に描かれた薬研堀以前の薬研堀跡と考えられます。埋蔵文化財試掘調査の現場また、すべての場所で石積みを確認できなかったため、当時は石積みの護岸ではなかったと考えられます。

▶ 江戸後期

江戸前期の薬研堀を埋め立てて整地した層で、整地後の井戸や、石臼を転用した溝状遺構を検出しました。「鳥取城下全図」に描かれた時代に相当するものと考えられます。

▶ 近代以降

江戸期の薬研堀のさらに上層にあたり、近代以降のものと考えられる建物基礎などが検出されました。また、薬研堀を建物基礎に利用したと考えられる建物跡も確認できました。

今後の対応：

市役所駐車場には、薬研堀の変遷を知るうえで非常に重要な遺構が残されていることがわかりました。このため、敷地内で建築などが行われる場合は、必要な範囲について記録を取るための本調査を実施します。



確認された薬研堀の石積み

市庁舎整備に関する市議会での取り組み状況は、市議会だより11月号に掲載しています。

マンガ的発想力

今年の国際マンガサミットは鳥取県民のみなさま、そして関係者のご尽力により同県で開催されることになりました。マンガに携わる者としてこれほど嬉しいことはありません。心より感謝申し上げます。

鳥取県と言えば真つ先に砂丘を思い浮かべます。しかし、マンガと聞くと一見あまり結びつきが感じられませんが、ご存知のように鳥取県は水木先生、谷口先生、青山先生など日本を代表する漫画家の出身県であり、かなり以前からマンガ文化に深い理解を示しておりました。他県出身の漫画家の僕には羨ましい限りです。特に「まんが王国とつとり」のキャッチフレーズは最高のインパクトがあると感じました。「まんが王国○○」はマンガで町おこしを図っている自治体には喉から手が出るほど欲しいフレーズだと思います。決して新しい訳ではなくむしろ使い古されたフレーズを堂々と用いたところに新鮮な期待感がありイメージしやすい分かりやすさがあります。これこそがマンガ的発想力と同類と感じました。

漫画家の僕が感じる現在の我が国の企業界と政界は、少し乱暴な言い方をするとこのマンガ的発想力が欠如している



漫画家 モンキー・パンチ

北海道生まれ。1965年に本格的デビュー。67年、現在のペンネームで「週刊漫画アクション」創刊号から連載された「ルパン三世」が大ヒット。現在でもアニメ化されるほどの根強い人気となり、出世作にして代表作となった。この他、コンピュータグラフィックスによる書き下ろし漫画「千夜一夜物語」や、「一宿一飯」、「逆イソップ物語」、「ルパン小僧」など。

エンジン01 オープンカレッジin鳥取では、「マンガキャラは、時を駆ける!」「マンガはこうして描く」を担当。

シリーズ

ぼうけん 望見

～鳥取市を想う～

エンジン01 オープンカレッジ in 鳥取の開催にご協力をいただいた講師のみなさまから寄せていただいた、鳥取市へのメッセージを紹介しします。(最終回)

問 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159

るということではないでしょうか？ オーディエンスの喝采を受けるマンガは僕なりに分析すると必ず次の3要素からなっていると思います。すなわち、①シンプルで分かりやすい、②何処か新しい、③面白さ(または何か)を期待させる、ということ。反論を恐れずに言うところこれが僕なりに考えたマンガ的発想力です。かつて民主党は「政権交代」のシンプルなスローガンを掲げ、右記の3要素で選挙に大勝しました。また、僕が敬愛してやまない故ステイブ・ジョブスが開発したiPhoneとiPadなどは見事にマンガ的発想力の3要素を取り入れていると思います。彼がマンガファンだったかどうかは分かりませんが、初めてiPhoneとiPadのトップ画面のアイコンの並びを見たとき「あれーっ!!、これってマンガのコマ割りじゃん」と、凄く楽しく感じました。また、画面で指でなぞると新しい画面が表示され、まるでマンガの頁をめくるようなわくわく感さえありました。独断で申し訳ありませんが間違いなくきつと彼もマンガファンだったはず、と思いたいです。

ここで特に若い人すべてにマンガを描きなさいとは言いませんが、少なくともマンガが持つこの発想力の3要素の素晴らしさを、マンガから深読みして頂ければ、漫画家の僕にとってこれ以上の喜びはありません。

漫画家 モンキー・パンチ



©Monkey Punch

ルパン三世はシンプルです

※第13回国際マンガサミット鳥取大会は、11月7日(水)～11月11日(日)に米子コンベンションセンターで開催されます。